

東京都北区新庁舎建設基本構想検討会（第4回）議事録

● 日時 平成22年12月10日（金） 午後5時30分～午後7時30分

● 場所 北区役所 第1委員会室

● 委員 （出席）20名 （欠席）2名

● 次第

1 開会

2 前回確認

3 議事

(1) 庁舎建設の基本理念及び備えるべき機能について

(2) 「中間のまとめ」構成案について

(3) その他

・ 次回日程について

4 閉会

● 配布資料

○ 第3回東京都北区新庁舎基本構想検討会 議事録 ……資料1

○ 新庁舎建設の基本理念と目指すべき庁舎像（案） ……資料2

○ 中間のまとめ構成（案） ……資料3

● 議事録

1. 開会

2. 前回確認

○委員長

議事を始める。前回の確認について事務局から説明願う。

○事務局

前回は望ましい庁舎像について自由に議論していただいた。課題として提起されていた事項について説明申し上げたい。

第1に、区民事務所での窓口の事務処理件数の減少について。本日、過去5年間の区民事務所の転入転出処理件数を折れ線グラフで表した資料を配布している。転入転出の合計件数は全体として若干増加しているがほぼ横ばいである。規制緩和により住民票や

戸籍の提出が不要になったこと、コンビニでの税金納付が可能になったこと、事業者など第三者による住民票等の請求がなくなったことが主な要因と考えられる。

第2に、人口推計について。前回の議事で人口推計値を上回る人口減少の懸念が示されたが、前回の資料で示したとおり、人口は2万8,000人程度減少する一方、外国人は3,000人増え、合計2万5千人程度減少すると考えている。今後も人口推計値を前提にした検討を行うとともに、できる限り最新の推計値を提示したい。

第3に、行政側委員から議論すべきとして提示する事項については、特になかった。

第4に、今後の業務量の推移については、17日から実施する各課の実態調査を踏まえて示したい。

第5に、CASBEE、CO2のガイドラインについても、今後示していきたい。

第6に、区政モニター会議について。本日区政モニター会議に関する資料を配布している。11月27日区政モニター会議を実施し、29名が出席した。A班ではワンストップですむ庁舎、イメージアップする庁舎、用事がなくても行ける庁舎、駅から近くて雨にぬれないで行ける庁舎、10年かかるのでは遅い、10年後の社会を見据えた庁舎、などの意見が出された。B班では、人がたくさん来られる庁舎、低層階に喫茶店や食堂がある庁舎、事務的な流れを考えている庁舎、練馬では7時まで開いている、低コストで長持ちする庁舎、区民、お年寄り、弱い者の視点を取り入れた庁舎、などの意見が出された。C班では、区の司令塔となる庁舎で、地域包括支援センターなど地域施設の充実も図ってほしい、IT化に対応できる庁舎、防災拠点として十分なスペースが確保できる庁舎、窓口で他の人に話が聞こえないようにしてほしい、などの意見が出された。

○委員長

以上について質問はあるか。また前回の議事録について他に意見はあるか。私は2つ事務局に伺いたい。区政モニター会議では事務局からどのような資料を提示したのか。また、ABCと3つの班に分かれているのは少人数で議論するためか。

○事務局

庁舎のあり方に関する取組みの概要を見やすくした資料を配布し、パワーポイントで示した。その上で検討会の内容を説明し、あるべき庁舎像を議論していただくようお願いした。区政モニター会議はすべてグループ別討議という形式をとっているため今回もそうした。

○委員

区政モニター会議で庁舎建設に対しての否定的なコメントはなかったのか。

○事務局

なかった。

○委員

現庁舎の見学会で議場も見たが、議場についての話が出ていない。現在の議場には、傍聴席が少ない、段差がある、車椅子は入れるが入り口が狭いなどの問題点がある。新庁舎を建設するに際し、区民に開かれた議場、身近に感じることのできる議場、区民の理解を深める議場を作るべきであると思う。

3. 議事

(1) 庁舎建設の基本理念及び備えるべき機能について

○委員長

中間のまとめのため、前回の議論を整理していただいている。それを今日議論することが本日の検討会の一番大きな目的である。次回2月14日の検討会では、中間報告のほぼ完成版を事務局に出していただいで、中間報告の議論をする。どこかのタイミングで作成した資料を読んでもらうのもよいかもかもしれない。3月下旬に出る北区ニュース特集号については、どのように区民から意見をいただくか。

○事務局

区政レポーターからも意見をいただくことになっている。

○委員長

2月、3月の後は5月以降に検討会を再開する予定である。今日はどう進めるか。

○事務局

参考資料1が前回のプロジェクター資料であり、キーワードを黄色にしている。3ページのその他欄は、前回検討されなかったが他の自治体に盛り込まれている項目の例示である。これもご検討いただきたい。

議論の順序としては、参考資料1を確認していただいた後、これを前提に作成した参考資料2について議論したい。参考資料2は参考資料1で出されたご意見を整理したもので、そこから導き出された望ましい庁舎像、目指すべき庁舎像の内容を示している。

これを報告書形式でまとめたのが資料2である。本日はこれらの資料について議論していただきたい。

○委員長

区政モニター会議での意見もこちらの資料に事務局の方で付け加えていただけるといふことでよいか。それでは参考資料1から議論したい。まずは安全から。青と緑は中間報告で出す言葉である。黄色い言葉は大事な概念でマークしてある。これらを編集していく。さらに入れていく言葉はあるか。

○委員

安全に関して、防災教育の欄がある。防災学習のためのスペースは大事だが、23区の中でもめずらしく西ヶ原に防災センターを持っている。リニューアルもしており、震度6の地震や煙などの体験をすることができ、入場者は100万人を突破している。新庁舎には防災拠点としての機能は必要だが、北区にはこのような施設があるということでご検討いただきたい。

また、「災害時における救援等のベースとなるようなスペース」とあるが、災害時用に特化するのではなく、多機能スペースであれば災害時に救援物資を保管する場所として活用できる。他の自治体では多機能スペースで期日前投票、ミニコンサートなどを行っている。そういうスペースがよいのではないか。なお資料2では救護という表現になっているが、救護は他のスペースですることにもできる。字句の配慮を事務局にお願いしたい。

○委員

先日の補正予算には防災関連費として1億円が含まれている。雨季には定点カメラを設置し映像を流してもいいのではないだろうか。災害の推計を公表することも考えられる。滝野川地域では5年に1回水害の被害を受けている。

○事務局

今後の基本計画などの中で生かせればと考える。

○委員長

情報は収集だけでなく適切な情報発信も重要だ。千代田区役所では高技術を活用しており、技術進歩が著しいのがわかる。技術を生かすなどの言葉を入れてもいいかもしれない。

○委員

免震機能という言葉があったが、最近はこの庁舎でも免震機能が入るのだろうか。免震、制震、耐震のどれがよいのか専門家の意見を聞きたい。

○事務局

耐震策の考え方には、大地震時の揺れを力で抑えるもの、揺れを建物に入れないもの、そして揺れを小さくするものがある。免震と制震を組み合わせる方法もある。趣旨は地震に強い建物を作ること、それを具体的にどうするかは設計段階で考えていくものであり、今後検討する必要がある。

○委員

組み合わせた場合にどれが安いという比較はあるのか。

○事務局

具体的状況に応じて、コストを見ながら組み合わせることができる。

○委員長

今の説明のこともあり、ここで免震と決めつける訳にはいかない。免震もひとつの選択肢と考え、要するに地震に強い、という言葉になるのか。なお、遠くの地震が大きくなって到達する場合、超高層の方が地震に弱い。今後、設計段階で検討する必要がある。

○委員

低コストという表現があるが、ランニングコストが低コストなのは良い。しかしインシャルコストについては、災害時に対応可能な強い庁舎にするならば、ある程度のコストは必要なのでは。

また、低地に住んでいる人が避難するスペースを用意すべきである。

○委員長

ある程度の初期投資かけなければ災害に強い庁舎もできないだろう。誤解のない表現にしなければならない。安ければいいというものではない。

○事務局

参考資料1の補足説明をさせていただきたい。老朽化のシンボル性の2番目について、北区が誇れる庁舎とあるが、区民自身が誇れる庁舎という趣旨である。また、2ページ真ん中の快適な執務空間のところにある「廊下が1つしかない」は、ロッカーが2人に1つしかない、の誤植である。

○委員

安全の議論に戻るが、既存の施設との関係、防災センターと新庁舎との関係を整理すべきである。新庁舎に災害本部を設ければ防災センターは防災教育に特化することも1つの考え方ではないか。救援物資を庁舎に置いてもいいし、防災センターの隣の体育館に置くとすれば防災センターもいいと思う。防災センター等、区の他の防災機関、機能との関係を整理したうえで、北区全体として必要な機能をそれぞれどこに分配・配置するかが重要である。

○委員長

今の庁舎でどうするかと、新庁舎ができるまでどうするか、新庁舎ができた後どうす

るかを区別して考える必要がある

○委員

防災センターの意味が、説明がないとわからない。防災拠点や防災センターに関わる文章には、それぞれの防災に関する機能の分配を説明しなければ中途半端なものになる。学習とは別に大人への情報発信の責任はどこにあるのか。平時、区からの情報はどこから受け取れるのか。防災センターが情報発信の役割を担っているのか。

○委員

防災センターは地震の科学館という別名がある。指揮命令系統の拠点でなく、文化センターと同じような位置づけで地震体験や火災体験をすることができる。現在災害拠点の中核機能を担うのは庁舎の庁議室であり、そこが無理なら防災センターということになっている。例えば水害であれば区役所の水防本部、また危機管理室を中心とした区役所から発信しており、西ヶ原の防災センターではない。なお、庁舎は現在避難場所とするという位置づけにはなっておらず、小中学校や公園が避難場所である。この議論については防災会議という別の会議があるのでそちらでの議論が必要になる。

○委員

今の件については、ハード面の機能を防災センターにもたせ新庁舎にマネジメント機能を持たせるということを明示すればよい。指揮系統を発揮できるようにすれば良い。

2 ページ目の低コストで長持ち、環境に優しいという言葉は受け入れやすい言葉だが、現実にIT化に対応しながら低コストを実現することができるのか。低コストと書いてしまうと様々な設備を設置する際にしぼりがかかってしまうのではないかと。千代田区役所の場合は、PFIであるからなのか定かではないが、何らかの財政的支援があったから可能だったのだろう。支援がなければ低コストを打ち出すことに疑問がある。IT化やバリアフリー等多機能を組み込む中での財政がある程度かかるということがわかる表現がよいのでは。たとえば、PPP、PFIなどの言葉を入れるなど工夫が必要である。

○委員

低コストかつ長持ちが矛盾ということも出来るが、可能な限りお金をかけない、インシヤルはかけるがランニングコストは安く、という意味での低コストもある。華美なものを作らない。無用なものを入れない、しかし、30年、50年持つものを使う、長持ちするものを使う、必要なものにはお金をかける、という意味ではよいのでは。

○委員長

低コストという言葉が一人歩きしないようにする必要がある。言葉の整理が必要だろ

う。

他の言葉はどうか。誰にでも使い易い空間設計、わかりやすい庁舎、などという言葉を入れるのもいいかもしれない。政策立案機能についてはどうか。

○委員

「政策立案」という言葉の趣旨はどういうものか。わかりやすく、住民にとって身近な議会というものではないか。議会への認識を深めるなどの、議会に関する言及がもう少しあってもいいのでは。議会棟と行政棟が離れていると不便でありそのあたりの配慮も頂きたい。

○委員

区民に開かれた議会、という趣旨ではないだろうか。18時半だと地下からでないこの会議室まで来ることが出来ない。17時半から閉鎖するというのが今の役所の構造である。役所はプライバシーにかかわる情報を扱うから閉鎖すべきゾーンもある。他方、会議室のように、区民が集まるようなところもある。動線的にはもっと北とびあと同じくらい入りやすい、使いやすいものを考えてはどうか。どのような表現にするのかは難しいが。

○委員長

千代田区役所1階のような多目的スペース、自由度が高いスペースが有ると良いが、セキュリティの確保も重要である。表現を工夫したい。

○委員

議会に対する敷居を低くする、多くの区民に議会の姿を見てもらう、傍聴してもらうのが重要である。傍聴席の拡充も必要である。議場の机・イスが可動式で映画館のようにすることも考えられる。議会がないときは映画やコンサートが出来るようなつくりになると、このようなところで議会をやっているのだな、と思ってもらえる。低コストは重要である。税金も下がるという財政状況の中で庁舎を建てるのであるから、税金を無駄に使わないでほしいという意見もあると思う。区民の声に耳を傾けると、なぜ今作るのかという意見もある。必要以上にお金をかけない、低コストにこだわるのもいいと思う。

○委員

議会でも議会改革を議論している。その点の調整をどう考えているのか事務局に聞きたい。

○事務局

現段階では調整していないが今後区議会事務局と調整し、伝えていきたい。

○委員長

中間のまとめはまとめとして整理するが、なお書きとして議会のことや現況施設と今後のあるべき姿をどう整理して繋げていくかを並行して議論し、最終的にはまとめていくことを補足的な説明を加えておいたほうがよいだろう。

○委員

議会は区民の要望に応えるスピードが遅いが、歩調を合わせていきたい。議論の仕方を工夫したいので、ご配慮いただきたい。

○委員長

参考資料2を説明してほしい。

○事務局

参考資料1の3ページを修正させていただきたい。上から2行目、公共的なサービスの箱という趣旨は、活動を担うための市民のスペースということである。また、「行政市民」は「行政と市民」である。

○委員

北とぴあとの連携について、これは自分の前回の発言であると思う。しかし、発言の趣旨は北とぴあの機能をそのまま維持すべきということではなく、北とぴあの活動支援拠点を庁舎に移すことも可能性としてありうる。庁舎の位置づけの検討も必要である。その意味で、北とぴあとの連携ではなく、北とぴあとの関係、という言葉に変更したい。区役所は昼間のみ開いているが、北とぴあは、夜間や土日も開いている。庁舎の運営も合わせて議論する必要がある。

○事務局

参考資料2は参考資料1の順番を変え整理したものである。第1に、ユニバーサルデザイン、バリアフリーなどの言葉も仮に入れてある。便利で安全でサービスを一元化できる窓口、快適な執務空間、は、「人にやさしい庁舎」という言葉で表現できるのではないか。その機能は、区民サービス、ユニバーサル、バリアフリー、執務機能と考えられる。第2に、防災で類型化した場合、ハードとソフトとしてはあるが、「区民の安全安心を守る庁舎」と表現できるのではないか。第3に、「低コストで環境にやさしい庁舎」と表現できるのではないか。第4に、議会に関しては、区民を代表する議会が身近になる、と仮に置いて「区民に開かれた庁舎」としている。区民の活動の類型にこれを位置づけるのが適切かどうか議論していただきたい。第5に、「北区のシンボルとなる庁舎」はどうか。まちづくりについては言葉が明確に出ていない。

参考資料1が直接反映されているわけではないが、このような整理の仕方でよいか、

この5つの分類でよいか、求められる機能はどうか、議論していただきたい。

○委員長

参考資料2が資料2になるということなので、資料2も合わせて説明していただきたい。

○事務局

1 ページ目の真ん中には、目指すべき庁舎像案を書いている。(1)～(5)が今申し上げたキーワードである。

求められる機能に共通するのは北区のシンボル性、ユニバーサルデザイン、環境対応である。また、基本機能として、防災拠点機能、執務機能、区民サービス機能、議会機能がある。

次ページ以下はその内容を説明したものである。基本機能の説明の順番とは違うものもあり、整理していきたい。(1)～(3)は参考資料1、2の文言を用いているが、3ページ(4)では「協働」という言葉を表現していないなど、若干反映しきれていない言葉もあるので、参考資料1、2をもとに文言、順序の修正を検討したい。4ページからが基本機能に関するものである。順番が適切か含めて検討したい。

資料2の1ページをご覧いただきたい。新庁舎建設の基本理念の案として事務局が提案しているのは、「人と環境にやさしく区民を守る 北区のシンボル」である。これらについて議論していただければと思う。

(2)「中間のまとめ」構成案について

○委員長

資料2の1ページを中心に議論したい。

○委員

参考資料1、2の最後のまちづくり、地域の発展が盛り込まれていない。地域の特性が現れていない状態で議論するのが難しいからだと思われる。利便性、行きやすい、アクセスがしやすい庁舎、という項目も書けるのではないか。利用しやすいの中にアクセスがしやすいという言葉があってもいいのではないか。

○委員

防災に配慮したまちづくりというのも入れてほしい。また、総合窓口化を参考資料1に入れてほしい。参考資料1の2ページ、「多様な区民サービスを一元化」というのは、国や都、区のサービスを同時に受けられる合同庁舎化の可能性の検討という趣旨である。

○委員

ランドマークというのは、デザイン性だけではなく、出来上がるまでのプロセスも重要である。自らの庁舎として「区民が誇れる庁舎」、という言葉が良いのではないだろうか。低コストは簡単に言うと区民に過度の負担をさせないという意味なので、コストに配慮し、などの表現がよいのではないか。また、区民サイドから業務の見直しをすることが必要になってくるのであり、区民の目から見てどういう窓口が必要かという検討も必要である。

○委員

環境にやさしい、とあるが、やさしいという言葉が多いので、コストと環境に配慮した、という言葉にしてはどうか。便利さや機能性を重視するのも良いが、親しみやすいという言葉が資料2には入っていない。これも資料2に入れてはどうか。

○委員

バランスあるコストは重要なので、ご検討願う。守るというより区民に開かれた、ということ強調してはどうか。また、集う、という言葉はどうか。今後どこに議論の重点を置くかを明確にすべきであり、それが北区の1つのシンボルになると思う。よりよい言葉の使い方を検討した方が区民にアピールできるのでは。

○委員

よくまとまっていると思う。しかし北区らしさ、北区の特色をより表現できないか。王子駅周辺なら飛鳥山との関係や王子駅周辺との関係でどんなプラス面があるかを考えていく必要がある。10年後に完成するとのことだが、その頃には地方分権がより進んでいるはずで、地域主権の時代に対応した庁舎のあり方を理念に含めた方がよいのではないか。北とぴあはひとつのランドマーク。北とぴあとセットで王子地区の新しいランドマークにしてはどうか。そうすると北区らしさも出る。

○委員

北区らしさが理念に出てくるのは賛成である。北とぴあとセットのツインタワーも考えられるが、建設地がわからないため、決定したら、その段階でそうした文言を入れていけばよいのでは。

参考資料2の、区民の安全・安心を守る庁舎という言葉遣いについて。安全を守るという表現は普通だが、安心を守るという日本語の使い方が気になる。区民の安心・安全の拠点になる、安全・安心を保障するなどの表現がよいのでは。

○委員長

資料2のまとめ方を整理するが、基本機能を5つの柱としてまとめる方向性でよいか。

これは今までの議論からこれらの柱が導き出されている。基本理念はこれらをさらにまとめて1行または1行半でアピールできるものでよいか。これらは、理念を抽象的に考えたのではなく、今までの議論を積み上げて出来上がったものである。

2、3ページの内容を今後詰めて、1月下旬を目処に一度何らかの形で送っていただきたい。できれば議論したい。資料2のまとめ方はこんな進め方でよろしいか。

次に資料3の説明をお願いしたい。

○事務局

望ましい立地条件以下は来年以降最終報告までに検討すべき課題であると考えている。中間のまとめはこの目次立てで構成していきたい。

○委員長

検討会では今の区民の視点で新庁舎はどうあるべきか、という議論をしている、これらが中間のまとめで中心になる。「今後に向けて」の記述については、現状の施設との整合性や、建設が10年後になるなら明日から10年先までどうするのか、議会との関係はどうするのか、などの中にも書けるものがあるかもしれない。

○委員

コストに関する意見が出たが、建設費もLCCも抑えるのが重要である。生涯コストであるということを工夫した表現が望ましい。

○委員

区民サービス機能の一部として、事業者の届出など区役所を利用する機会が多い。事業者にとってのワンストップも重要になるのではないか。

○委員

第2庁舎、第3庁舎の間は更地になり福祉施設を作る話を聞いたが、進んでいないようだ。あの土地を区で買うかどうかは庁舎建設の話を進めていく上で重要であるが、売却する予定はあるのか。

○事務局

詳細は把握していないが、当初かなりの高額で売買されたとは聞いている。現在駐車場として整地しており、今後の予定も把握していない。区に対し買わないかという話も出ていないし、検討もしていない。

(3) その他

- ・次回日程について

○事務局

今回は2月14日夕方から夜を予定している。中間のまとめの案を作りたい。それまでに案を作り、一度または数度送り、お目通し頂く機会を作りたい。

区民委員の方には席上に検討会だよりの案を置いている。後日開催したいのでそれまでにご意見を頂きたい。

4. 閉会

○委員長

本日の検討会を終了する。

—閉会—